



ひっぴだより

No3, 2013. 5. 31

カッコウの音が谷に響き、緑が濃くなり、白い花が風にのって薫る季節になりました。
この2ヶ月、どんぐりさんは、驚くほど日に日に変化し、たくさんの笑顔、走り回る姿、手を叩く姿、お前をよび合う姿がみられるようになりました。どんぐりさん同士で楽しそうに水遊びをする日もあれば、大きい子に混じって木の探検や家族ごっこをするなど様々な関わり合いがみられます。また、朝のお返事などの子も楽しみにしているようで手をあげ、「はい!」と笑顔です。こんな様子が5月は、はじめてかなとスタッフで話しています。けれど、そんな日々の中にも泣き顔や、悲しい顔、怒った顔の時もあり「どうしてあの子は○○しちゃったのかな... ○○しよいのかな...」と思うことがあります。そんな時つい、「どうしてなの?」「なにがあったの?」と言葉を子どもに求め、原因を探してしまうのですが...

先日、美羽ちゃんがしばらく泣いていた時、明日香ちゃんが「大丈夫?」と走り寄り、顔を覗きこむと、「あ!」と言ってその場を離れ、手にたくさんのティッシュをもって戻ってきました。そして美羽ちゃんの涙をそっとふいてくれたのです。すると美羽ちゃんは、すーっと泣きやみまわりました。
また、最初の頃、とても緊張していた蒼空くんがある日「わあー」と声をだしてなご場を一人走りはじめました。ふと、私も同じ声をだしながらしばらく一緒に走っていたら、蒼空くんと目が合い、笑い合ってくれたのです。その時、蒼空くんの心とつながったような気がしました。

散歩をしていた時、渚月ちゃんが「何か聞こえる! 青争かにして!」の声に皆で耳をすまると、こおおお... んん... 「あ! キツキツだ!」と岸悟くん、「わあー 聞こえる! 聞こえたねえ」と愛莉ちゃん。お互いの顔をみつめあって笑顔でうなづいていました。
誰かに嬉しいことや、悲しいことがあった時、その子の側にいる子どもたちをみていると、その子に気持ちや向き、いつのまにかその子と同じで「もの」を考えたり、感じたりしています。私も嬉しい気持ちの時、共に感じることができず、それ以外の時は、どうしてこんなことを...? どうしたら解決できるのか、ということに先について考えてしまいます。でもその行動の背後には、必ず、その子の思いがあるはずなのであ...。でもずと、「解決するために何?」ということばかり考えていて、言葉を子どもに求め、子どもの気持ちと向きあうことを忘れていました。そんな時は、私も子どももどうしたらよいのか... 困ったまま... という時間が続きました。

けれど、「寄り添って、いた子どもたちがしているように、その子の気持ちや考え始めたら、少しづつですが、子どもたちのことがみえてきたような気がします。どんな気持ちなのか、どんなことを感じているのか...。そして通じあえた時、思わずその子を抱きしめていい気持ちになります...。とはいえ、まだまだわからないことだらけ...
日々、本当に気持ちと気持ちのぶつかり合い、とっさに判断しなければならぬ事に、「どうしたらいいんだろう...。なんで言ったらいいんだろう...」とせっせり思ってしまうのです。

: 菜々鬼

おおきいけだより

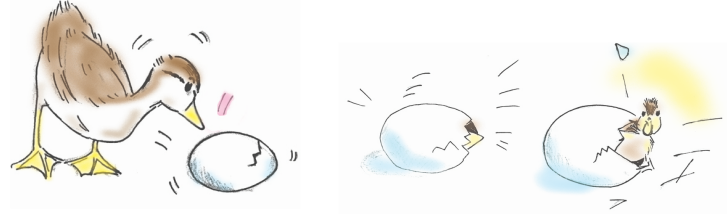
くりさんとおおくりさんが作った巣箱にラジウカウが出入りしているのを見かけた人もいます。野鳥にして子育て真っ盛りの季節。もう少しするとヒナ鳥の音が森から聞こえてくることでしょう。

初夏のような天気も続いた5月。沢山着込でいた服も、一枚また一枚と少なくなり、身体も動かしやすくなりました。ズリんに体操でのみんなの動きにも勢いがあります。昨年度から鉄棒などの地面から足が離れる運動は「ほく、やさしい...」と挑戦を避けていた朝次朗くん。大人の手を掴んで膝に足をのせ、グルリと回る運動も、列に並ぶことすらしませんでした。とけのくに5月のズリんに体操では、その列に(翔)が平然と並んでいいるではありませんか! 「あ、どうして、たんとする?」と不思議に思いつつも、「次、さくちゃん、おいで」と声をかけると、すんて前に進み出てきます。「えっ! や子の? やちゃんの?」と僕の方からドモドキかけかすも、それがはげないように平静を装いました。ぐっと手を掴んでくさり、そしてこちらの顔を見上げて「オレ、家で練習してきたんだ」とニヤリ。走り、列に戻っていきまわりました。その後、4月まではやっていたからなかな運動に次々と取り組み、結局全部に参加。本人はいた、と飄々としていました。あまりの変化にとても驚きました。お母さんの治子さんとお話すると「もう、やめてくれてよかったからいい。家でグルグル回ってたんだ」とのこと。あの日突然起こったように見えた(翔)の変化でしたが、お家で、いっほ練習し、「これで大丈夫!」と心と身体の中に自信が、満ちあふれた時、みんなの前でグルリと回ってきたのでしようね。

(翔)の姿を見て、「^{とつとつ}啖啄同時」という言葉を思い出しました。ヒナ鳥がまじに生まれ出ようとする時、卵の内側から殻をゴツゴツとつづくことが「啖」、そしてちょうどその時に、親鳥が、外側から殻をゴツゴツとつづくことが「啄」。この啖と啄が、同時に起こること。そのヒナにしろこのちやうどのタイミングで殻が破れヒナ鳥が生まれ出てくるのだ、そうです。親鳥の啄が早くても遅くても殻の中のヒナ鳥の命が危険な状態にちやうど、本当に大切な一瞬です。

フワフワ、向てもかんに「早くできおうに、上達するように」と、僕も含めた大人は子どもに期待し、せかちに声をかけたり、矢張りしめたり...。自分自身の子育てでも、日常の保育においても、思い当りこころは僕の中にもたくさんあります。意欲の種が芽を出し、ゴツゴツと子もまた自ら殻をつづくのをじっと待ち、その大切な瞬間を逃さぬように、子ども達の時間を大切にしようとして改め反省しました。

: 慎之介



お知らせ

どんぐりグループのバ 6/19頃退園工事の事に列列した。お父様のお仕事のご都合で滋賀県にお引っ越しされた。1cNから2cNのお友だちの名前を覚え、楽しく通っているのが本当に残念です。新しい場所でもまたお友達に出会えることを祈ります。遠くから成長を楽しみにしています。

どんぐりエンの降園時間変更のお知らせ

6月4日(火)～ 14時以降です。金曜日の「まんがのあそび」も始まりました。

個人面談のお知らせ

子どもの様子を話し合い、より深く理解し合うために下記のように個人面談を行います。お時間にご都合がある場合はどなたかと交替していただくのを旨としてスタッフまでお知らせ下さい。場所はびびりハウスです。

	6/17(月)	6/20(木)	6/24(月)	6/26(水)	6/28(金)
2:15 }					
2:45					
2:45 }					
3:15					
3:15 }					
3:45					

降園後から託児をお願いするので2時のお迎えに来てくださって大丈夫です。面談時間には列列した。直接びびりハウスへいらして下さい。

えりんこたいの日

18日(火)

おおきくアート日

13日(木) 27日(木)

びびりお泊り会のお知らせ

親子で交わることを楽しみ、お父大人は聞き合ったり、知り合ったりと大切にびびり森にお泊りします。お父さんの参加もお待ちしております。保育の一貫として行っているのが参加がベースですがご家庭のご事情などでお困りのことなどあればお知らせ下さい。一緒に考えましょう。

日時) 6月14日(金) 夕方5時集合～15日(土) 朝10時頃解散
*14日(金)の通常保育はありません。

場所) バイブルキャンプ場 メインハウス
持ち物) 着替え・洗面用具・パジャマ・タオル・その他必要なもの
持参する方は 掛布団カバー・敷布団カバー・枕カバー

料金) 親子一組 5000円 (宿泊・食事)
大人一人 3500円 (")
兄弟一人 3000円 (")
シートセット(掛・敷・枕カバー・バスマット) 525円/一式

食事) 夕食は主食2-3種類をこちらで用意いたします。副食の差し入れは大歓迎です。量は少しで充分です。夜の大人の会の飲み物等は各自飲み物を持参して下さい。朝食はこちらで用意いたします。

お風呂) キャンプ場にお入りです。
兄弟お泊り) びびり子ども会のお泊り時間と併せてお申し込み下さい。防寒・雨天対策をお願いいたします。

びびりお泊り会 参加申し込み

*代金を添えて6/7(金)までに提出をお願いいたします。

園児名 _____
参加ご家族名 _____
必要Fベッド数 _____ 床 _____ シーツセット 要・不要 _____

備考欄 _____

🌻 田火田でより

何年にも一回の冷たい、四月の大雪、雨が降ってカラカラの火田…。今年の田火田は過酷な状況の中でスタートしました。牛舎におおきくお世話して、新しい稲の種もお世話して芽が出ず、本当に心配しました。雪が止んだら、深淵に落ちた稲も、根付かたかた、色も試して、このおまじないの芽が出たかどうしよう？と毎日苗床とにらめっこ。やっと芽が出たものの、出たの遅れが景観にいるのが、何年より成育が遅く、おまじないの日程を決められずにいます。火田に、新しいカブと人参を干して、おまじないの芽が出ず、カブと人参を出すと、おまじないは、早くおまじないで、葉が焼けてしまい、勝手に直ぐおまじないでいます。

「お日様」と「雨」の具合に、おまじないの田火田。周りの田火田の方を、おまじないの声をうかがいつ、毎年「実験」のようおまじないの春です。 :美和子



ひらひら Note 「ゴジウ入豆乳クリームスープ」

- ・ベーコンをじっくり火にかけて油を出し、しんにこのおまじないの香りを出して、おまじないの玉ねぎ、ゴジウ、人参の順に（おまじない最終に長いも、じゃがいもも合います。）火にかけて、この順番に少量の酢・塩を加えて味付けし、蒸し煮にします。汁と火が通ったら熱湯を加え、おまじないを取り、おまじない（少量を牛乳にするとコクが出ます）を加え、味噌・しょうゆ・塩を加えて味を整え、煮立つ直前に火を止めて、おまじないに青菜を散らして出来上がり。
- ・ひらひらスープを作る時は、材料を強火で火にかけてから蒸し煮にし、必ず「うらうら煮」を熱湯で注ぐのがポイント。野菜の旨味をキープと閉じ込め、おまじないがほろほろ。こうするとおまじないにも必要なく、青菜のおいしさを活かすことができます。
- ・野菜を火にかけて、少量の酢（米酢やワインビネガー）を加えると、野菜の苦味やえぐ味を抑えて、キリッとしたおまじないになります。
- ・味噌・しょうゆ・塩は調味料は上質なものを選ぶこと。表示を見ず、添加物の少ないおまじないの作り方のいいおまじないを選ぶと、おまじないの味が違ってきますよ！

ひらひらの森の小鳥たち（5月：ゴジウカウ）

新緑の森の中「フィー、フィー、フフフフ」と高くひびく声がきこえてきます。声のする方へ目を向けると、おや？木の幹に何かちよちよと重くものがみえます。よくみると頭を下向きにして、かちかちと音をさせながら器用に幹の裏側～表側へとくるくる走り回っています。

群青色の美しいなめらかな、流線形のイボをもつゴジウカウ。シジュウカウと名前には似ていますが、姿、形など、おまじないのふんと異なり、長く頭丈なく、おまじないのさらに「シレエッ」とスマートにみせています。



さかだち
とくい!

頭を下にして、幹を下りることのできる鳥（おまじないにはいません）。ちよちよ自慢気に？遊ばせになって胸をさらしている鳥をみつけたら、まらがいなくゴジウカウですよ。

: 菜々丸